

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道9号	湖陵・多伎道路	L=4.5km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16,700	2	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	191億円	37億円	228億円
基準年における 現在価値 (C)	149億円	11億円	160億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	3.0億円	2.2億円	24億円
基準年における 現在価値 (B)	277億円	43億円	30億円	349億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	2.2
経済的純現在価値 (B - C)	190億円
経済的内部収益率 (EIRR)	9.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	16,700	±10%	1.9 ~ 2.5
事業費	191億円	±10%	2.0 ~ 2.4
事業期間	9年	±20%	2.0 ~ 2.4

交通状況の変化

様式-3①

事業名：湖陵・多伎道路

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 4.5km	交通量	[台/日]	—	16,700	
	走行時間	[分]	—	4	
	走行時間費用	[億円/年]	—	12.78	
②主な周辺道路	国道9号 : 6.0km	交通量	[台/日]	16,000	5,800
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	26.02	8.20
	広域農道 : 5.8km	交通量	[台/日]	6,000	500
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	13.72	0.82
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 : 3298.3km	走行時間費用	[億円/年]	3,817.74	3,816.35	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 3314.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,857.48	3,838.15	19.33

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：湖陵・多伎道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

		項目	チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		() %	
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 湖陵・多伎道路				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.17	4.5	0.78	
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-9年目	H 24	0.9615	90.0	0.95	0.91		
-8年目	H 25	0.9246	90.0	4.38	4.05		
-7年目	H 26	0.8890	90.0	6.76	6.01		
-6年目	H 27	0.8548	90.0	21.05	17.99		
-5年目	H 28	0.8219	90.0	22.03	18.11		
-4年目	H 29	0.7903	90.0	36.19	28.60		
-3年目	H 30	0.7599	90.0	38.53	29.28		
-2年目	H 31	0.7307	90.0	41.76	30.51		
-1年目	H 32	0.7026	90.0	19.05	13.38		
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0			0.74	0.50
1年目	H 34	0.6496	90.0			0.74	0.48
2年目	H 35	0.6246	90.0			0.74	0.46
3年目	H 36	0.6006	90.0			0.74	0.45
4年目	H 37	0.5775	90.0			0.74	0.43
5年目	H 38	0.5553	90.0			0.74	0.41
6年目	H 39	0.5339	90.0			0.74	0.40
7年目	H 40	0.5134	90.0			0.74	0.38
8年目	H 41	0.4936	90.0			0.74	0.37
9年目	H 42	0.4746	90.0			0.74	0.35
10年目	H 43	0.4564	90.0			0.74	0.34
11年目	H 44	0.4388	90.0			0.74	0.33
12年目	H 45	0.4220	90.0			0.74	0.31
13年目	H 46	0.4057	90.0			0.74	0.30
14年目	H 47	0.3901	90.0			0.74	0.29
15年目	H 48	0.3751	90.0			0.74	0.28
16年目	H 49	0.3607	90.0			0.74	0.27
17年目	H 50	0.3468	90.0			0.74	0.26
18年目	H 51	0.3335	90.0			0.74	0.25
19年目	H 52	0.3207	90.0			0.74	0.24
20年目	H 53	0.3083	90.0			0.74	0.23
21年目	H 54	0.2965	90.0			0.74	0.22
22年目	H 55	0.2851	90.0			0.74	0.21
23年目	H 56	0.2741	90.0			0.74	0.20
24年目	H 57	0.2636	90.0			0.74	0.20
25年目	H 58	0.2534	90.0			0.74	0.19
26年目	H 59	0.2437	90.0			0.74	0.18
27年目	H 60	0.2343	90.0			0.74	0.17
28年目	H 61	0.2253	90.0			0.74	0.17
29年目	H 62	0.2166	90.0			0.74	0.16
30年目	H 63	0.2083	90.0			0.74	0.15
31年目	H 64	0.2003	90.0			0.74	0.15
32年目	H 65	0.1926	90.0			0.74	0.14
33年目	H 66	0.1852	90.0			0.74	0.14
34年目	H 67	0.1780	90.0			0.74	0.13
35年目	H 68	0.1712	90.0			0.74	0.13
36年目	H 69	0.1646	90.0			0.74	0.12
37年目	H 70	0.1583	90.0			0.74	0.12
38年目	H 71	0.1522	90.0			0.74	0.11
39年目	H 72	0.1463	90.0			0.74	0.11
40年目	H 73	0.1407	90.0			0.74	0.10
41年目	H 74	0.1353	90.0			0.74	0.10
42年目	H 75	0.1301	90.0			0.74	0.10
43年目	H 76	0.1251	90.0			0.74	0.09
44年目	H 77	0.1203	90.0			0.74	0.09
45年目	H 78	0.1157	90.0			0.74	0.09
46年目	H 79	0.1112	90.0			0.74	0.08
47年目	H 80	0.1069	90.0			0.74	0.08
48年目	H 81	0.1028	90.0			0.74	0.08
49年目	H 82	0.0989	90.0	-3.00	-0.30	0.74	0.07
合計				187.70	148.56	37.14	11.21
単純事業費計				190.70		37.14	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

